

第22回高松市中心市街地活性化協議会開催結果

- 日 時 平成 29 年 4 月 21 日（金）10 時から 11 時 20 分まで
- 場 所 高松商工会議所会館 4 階 401 会議室
- 出席者 委員 18 名・委員代理 1 名・オブザーバー 11 名・随行者 11 名
- 開催結果



植木議長の開会挨拶の後、議長となり議事を進行した。

議題 1 「監事の選任について」

選任方法について諮ったところ、出席委員から議長一任の発言があり、全員の賛同を得たので植木議長からは前監事の後任である社会福祉法人高松市社会福祉協議会常務理事 岡本英彦氏を指名し、了承を得た。

議題 2 「平成 28 年度認定中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告(案)について」

基本計画の認定を受けた市町村は、取り組み事業の進捗状況等のフォローアップを行い、国へ報告が必要であり、報告には当協議会の意見が必要である。報告スケジュールは5月中旬頃に内閣府に提出後、審査を受け6月中に公表予定であるとの説明があり、その後、平成 28 年度の事業の進捗状況ならびに目標数値の達成状況および見通しが説明された。引き続き、「本フォローアップ報告に係る当協議会としての意見(素案)」を上程し、事務局より意見内容を説明した。また高松琴平電気鉄道株式会社より瓦町FLAG地下1階のオープンを始めとした現状報告があった。委員からは、中心市街地における歩行者の目標数値達成のための新しい取り組みの有無の確認、瓦町地下駐車場における駐車料金値下げや1時間無料駐車サービス等の提案、テナントリーシングを強化すべきなどの意見があり、協議の結果、必要であれば委員からの意見等を踏まえて修正し、高松市へ提出することとなった。

議題 3 「その他」

四国経済産業局担当者より、プレミアムフライデーについての概要説明と中心市街地活性化のために消費喚起の一策として来年度の計画策定の際には、仕組みを取り入れてほしいとの要望があった。

報告事項

丸亀町商店街振興組合より直近の取り組み施策として、①まちなかループバスと香川大学西成ゼミとの連携プロジェクトとしてまちなかループバスに関するマップを発刊②カーシェアリング実証実験事業③予防医療の拠点施設「ボディバンク」④インバウンドに目を向けたIoTを活用した新ビジネス創出推進事業として双方向自動翻訳システムと全自動の免税一括処理のカウンターの設置計画の4点報告があった。

引き続き意見交換を行い、委員からは、まちなかループバスの試乗券やフリーパス券の検討、事業周知の徹底してほしい等の意見があった。